

民主党県連がヒアリング

浅尾、佐藤氏は出馬否定

今春の知事選で、民主党 佐藤謙一郎衆院議員(神奈川一区)と会談、出馬の意向を確認した。浅尾氏は、現任で、候補者として名前が浮上している浅尾慶一郎参院議員(神奈川選挙区)との考えがないことを表明した。

浅尾氏は会談後、記者団に「出馬の意思を問われ、今後は」と表明。候補者について「誰が出て、政策を打ち出すことが大事」と述べた。さらに、民主党に対して「横浜、川崎市長選といろいろあったので、今回はしっかりとまとめることが必要だ」と話し、出馬が取りざたされる松沢成文代議士(神奈川9区)に対しては「発信力のある人。(出馬したら)応援する」と述べた。

佐藤氏も自身の出馬について「自パーセントなど」と語った。

一方、県知事選での候補者発掘を独自に目指す「明日の知事」を考える県政刷新の会「水戸将史代表(民主党県議)」と勝又恒一郎県



内高校と連携した入試システムの改めることなどを列挙した。④では市のすべをパーチャルキャンパスとして、市民の誰でも入学できる「よほほまシティ・カレッジ」を開設すること

の養成に関する先導的な試みとしてメディアカルスクールの導入を検討する」などとしている。

橋爪座長は「現在の市大の財政状況だけをみれば廃校を選択肢に入れざるを得ない。ただあくまでたたき合なので今後、委員との議論の過程で結論は変わりの」と話した。

病院の売却も視野

3学部統合など抜本策提示

横浜市の将来像を検討 応を柱に構成。 ①では多額の費用がかかり方懇談会「座長の橋爪大 三郎東工大教授は十六日、「廃校」「二病院の私大への売却」をせざるに存続させていく場合は「ほかの大学ではまだ実現していないような思い切った大胆な抜本的改革と、経営合理化の実現を求めるべき」などとする私案をまとめ、同懇談会に提出した。

市や全国の自治体が直面する社会的・経済的・行政的課題に取り組むことを教育研究の「柱」とする。③では学費を値上げして低限行おうべき改革として「医学部と病院を別々に独立行政法人化し経営・運営の意見が出ている。」など

市大並みの負担率に引き上げることや、入学方式を市の合理化を進める「医師

議(無所属)は連合神奈川の真壁会長に面会した。真壁会長からは「選挙実務をやった立場からすると、知事選ではヒト、モノ、カネで大変な努力、負担がかかる。誰かが引き受けた後、何も無い、できないじゃ無責任だ」などとアドバイスを受けた。

同会は、全首長を対象にアンケートを行っており、中田宏横浜市長からは「会の趣旨に共鳴し、候補によっては連携したい」との回答を得たという。

(報道部・渋谷 文彦)

山梨は自民県 愛知は現職

任期満了に伴う山梨、愛知両県知事選は十六日告示、同日夕に立候補届け出を締め切り、山梨は現職引退を要する。愛知は現職引退を要する。山梨は現職引退を要する。愛知は現職引退を要する。

豹が招く票



今春の統一地方選に向け、新しい選挙用の縁起物が目見えした。「票を呼び込んでほしい」との願いを託した招き豹(ひょう)の「ヒョウタくん」II写真。東京都港区内の企画会社「OBC A」(小川圭一代表)が企画、群馬県高崎市内の「だるま製造業者」マクティイ大野屋「中田晴視社長」が伝統技法を取り入れて注文生産に応じる。招き猫よろしく右の前脚で票を手招きする愛らしいポーズを取るヒョウタくんは高さ約六十センチ。「祈り必勝」「祝当選」などと書いたたすきには立候補者名も入れられる。

小川代表はさきごろ高崎市内で開いた記者会見で「ヒョウタくんを選挙事務所に飾った候補者には見事当選してほしい。低迷する経済を活性化させる政策を立案してもらいたい」。自らが発案したキャラクターを世に送り出した秘書氏は「当選後に公約を破るなどのひょうたくんは許しません」と話している。

価格は三万九千円(税別)。申し込み、問い合わせは受注センター04-660-0000。

(報道部・宮本 敏也)

敢学校給食の民間委託試した。効率的な行政を進めて